

夏季大会競技上の注意

1. 試合開始時刻

- ・第1試合プロトコール 9:30 第4試合プロトコール 13:30 ※午前の状況により変更あり

2. コートでの練習について

- ・プロトコール15分前より試合チームのみ練習可能とする。
- ・フロアでの練習は、登録されたベンチスタッフと選手のみとする。
- ・試合間の練習は、ボールを使ってもよいが、ネットを使ってはいけない。

3. 補助役員

- ・各チームはラインズマンフラッグを用意し補助役員時に使うこと。
- ・各3チームリーグの試合でない空きのチームが行う。

4. エントリーの変更について

- ・受付時に変更があることを告げ、用紙をもらい、第1・4試合が始まる10分前までに提出する。
- ・エントリーの変更によって登録できる選手は、同一団体内でJVA-MRSに登録を済ませた選手に限る。

5. 競技方法

- ・第1セット及び第2セットにおいて、そのセットでリードしているチームが、7・14点に達したとき、副審の吹笛により30秒間『水分補給のためのテクニカル・タイムアウト』が適用される。

6. 服装について

- ・ベンチスタッフは、統一されていること。(色が同じであればよい。Tシャツ・短パンは認めない。)
- ・監督・コーチ・マネージャー章は、必ず左胸に着用する。
- ・監督・コーチ・マネージャーのうち一人以上の者が、指導者受講証を首から提げていること。
- ・選手の服装は、ルールに準じる。

7. その他

- ・選手やベンチ役員の飲料水としてのペットボトルをベンチに持ち込まないこと。
飲料水用のボトルは、吸引式のような物がついていること。
- ・選手は、観客席で着替えをせず、できる限り体育館の更衣室を使用すること。
- ・公式練習中は、ボール拾いをきちんと行い、隣のコートにボールが入らないように気をつける。
- ・ベンチスタッフは、JVA-MRSに登録され、且つ、宣誓書に署名押印した者に限る。
- ・各チームは受付や消毒作業をするための帯同役員を2名決めておく。
- ・非接触型温度計を用意し、各チームで集合時に検温する。
- ・プレー中の選手はできる限りマスクを外すこと。外した場合にはネット際での発声は控える。
- ・試合中、ベンチスタッフはマスクを着用する。控え選手は外してもよいが声は出さない。
チームへの発声はチームスタッフの指示のみとし、他は拍手での応援とする。
- ・応援は拍手を原則とし、声は出さない。応援団のみタオル、うちわ、プラカードを掲げることができる。
- ・うちわの使用はタイムアウト・テクニカルタイムアウト・セット間のみとする。
- ・コートのモップ掛けはチーム判断とする。使用後には持ち手の消毒を行うようにする。
- ・入館時、選手12名、スタッフ3名、応援団12名は名簿の順に並んで入ること。その際に健康チェックシートと参加確認書を提出すること。(入る人全員分)
- ・観客席で食事をすることができます。午前のチームは13時までに食事を済ませて退館すること。午後のチームは入館後に食事をするか、食事を済ませてから入館すること。